

呉工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	コミュニケーション英語Ⅱ	
科目基礎情報							
科目番号	0034		科目区分		一般 / 選択必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数		履修単位: 3		
開設学科	電気情報工学科		対象学年		2		
開設期	通年		週時間数		3		
教科書/教材	望月正道ほか『WORLD TREK: English CommunicationⅡ』(桐原書店) および 『チャンクで英単語 Standard』(クラウン)						
担当教員	蒲地 祐子						
到達目標							
1.教科書および副教材『チャンクで英単語 Standard』の新出語句や表現を使えるようになる. 2.教科書の文法を理解し、使えるようになる. 3.本文の内容を理解し、英語で自分の意見を言えるようになる. 4.英語特有の発音要領をより自然に再現できるようになる.							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	教科書および副教材『チャンクで英単語 Standard』の新出語句や表現を適切に使うことができる		教科書および副教材『チャンクで英単語 Standard』の新出語句や表現を使うことができる		教科書および副教材『チャンクで英単語 Standard』の新出語句や表現を使うことができない		
評価項目2	教科書本文の内容を理解し、適切に自分の意見を言うことができる		教科書本文の内容を理解し、自分の意見を言うことができる		教科書本文の内容を理解し、自分の意見を言うことができない		
評価項目3	.本文の内容を理解し、英語で自分の意見を適切に言える		.本文の内容を理解し、英語で自分の意見を言える		.本文の内容を理解し、英語で自分の意見を言えない		
評価項目4	英語特有の発音要領を自然に再現できる.		英語特有の発音要領を再現できる.		英語特有の発音要領を自然に再現できない.		
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 本科の学習・教育目標 (HA) 本科の学習・教育目標 (HA)							
教育方法等							
概要	言語運用の四技能(読む・書く・聞く・話す)を向上させる。テキストの音読と精読を通して、読解力の育成をはかるとともに、テキストに取り上げられている内容に関連した語彙や表現を身に付けることを目的とする。また、発展的に、テキストに取り上げられている題材について英語でまとめたり、意見を言う演習を適宜行い、英会話力の伸長を図る。本授業は進学、就職、資格取得に関連し、コミュニケーション能力を高めることができる。また、人間の様々な営みを知ること、自らのキャリアを形成する上で有用な知識を得ることができる。						
授業の進め方・方法	1. 教科書各課の重要語句の学習 2. 教科書各課の文法事項の学習 Lesson 1 S+V+O (=it)+C+to不定詞, S+V (=知覚動詞)+O+C (=動詞の原形), S+V+O+C (=過去分詞) Lesson 2 現在完了進行形, 現在完了の受け身, 不定詞の完了形 (to have + 過去分詞) Lesson 3 It is ~ whether節, with+名詞+補語 (付帯状況), 助動詞+完了形 Lesson 4 wish+仮定法, 仮定法過去完了, if節を使わない仮定表現 Lesson 5 S+V (be動詞)+C (=that/whyなどで始まる節), 関係副詞why, 関係代名詞~+前置詞 Lesson 6 強調構文, 挿入, seem+to不定詞 Lesson 7 the+形容詞[分詞], 関係副詞when, wherever/whenever/however 3. 教科書各課の本文の音読および内容理解 4. 『チャンクで英単語Standard』を用いた小テスト						
注意点	テキストや予習ノートだけでなく辞書も必ず持参して活用すること。自分自身の疑問点や学習課題を予習段階ではっきりとさせ、授業をもとに一つずつ解決することが効果的な学習につながる。そのため、毎回必ず予習をして授業に臨むこと。演習を基本とする授業なので、集中して課題に取り組み、積極的に発言することが求められる。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	概要説明, Lesson 1-1		■ホームルームでの言語演習 1. 英語の聴き取り・発音の練習・文法学習を通じ、英文の読解及び和訳が正確にできるようになる。また、本文の内容について英語の文章にまとめたり、要約や意見を言うことができるようになる。 2. 二週間に一度のペースで、単語の試験を実施する。		
		2週	Lesson 1-2				
		3週	Lesson 1-3				
		4週	Lesson 2-1				
		5週	Lesson 2-2				
		6週	Lesson 2-3				
		7週	中間試験				
		8週	答案返却・解答説明				
	2ndQ	9週	Lesson 3-1				
		10週	Lesson 3-2				
		11週	Lesson 3-3				
		12週	Lesson 4-1				
		13週	Lesson 4-2				
		14週	Lesson 4-3				

		15週	期末試験	
		16週	答案返却・解答説明	
後期	3rdQ	1週	Lesson 5-1	■ホームルームでの言語演習 1. 英語の聴き取り・発音の練習・文法学習を通じ、英文の読解及び和訳が正確にできるようになる。また、本文の内容について英語の文章にまとめたり、要約や意見を言うことができるようになる。 2. 二週間に一度のペースで、単語の試験を実施する。
		2週	Lesson 5-2	
		3週	Lesson 5-3	
		4週	Lesson 6-1	
		5週	Lesson 6-2	
		6週	Lesson 6-3	
		7週	復習	
		8週	中間試験	
	4thQ	9週	答案返却・解答説明	
		10週	Lesson 7-1	
		11週	Lesson 7-2	
		12週	Lesson 7-3	
		13週	Lesson 7-4	
		14週	復習	
		15週	学年末試験	
		16週	答案返却・解答説明	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	英語のつづりと音との関係を理解できる。	2	
				英語の標準的な発音を聴き、音を模倣しながら発声できる。	2	
				英語の発音記号を見て、発音できる。	2	
				リエゾンなど、語と語の連結による音変化を認識できる。	2	
				語・句・文における基本的な強勢を正しく理解し、音読することができる。	2	
				文における基本的なイントネーションを正しく理解し、音読することができる。	2	
				文における基本的な区切りを理解し、音読することができる。	2	
				中学で既習の1200語程度の語彙を定着させるとともに、2600語程度の語彙を新たに習得する。	2	
				自分の専門に関する基本的な語彙を習得する。	2	
				中学校で既習の文法事項や構文を定着させる。	2	
				高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項や構文を習得する。	2	
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	2	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	2	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	2	

評価割合

	試験	小テスト	課題点	ノート点	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	20	10	10	0	0	100
基礎的能力	60	20	10	10	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0